

序

わが国における形成外科学界の未来はどうなるのか？

既存の治療方法のみを目指すのであれば、日本の形成外科の未来はない。

これまでに、形成外科は他診療科では困難な、もしくはニッチな unmet needs を探し続けることで力をつけてきました。そして、それは長いスパンで考え抜かれたものでなければなりません。そのためには、常に新しい分野への開拓精神を要します。

情熱をもって未来の形成外科学界を切り拓くために、日本の形成外科の未来予想図を語っていただきたいと思います。

『形成外科』編集委員会
(編集担当：寺師浩人)